



いわきの子

岩城小学校
学校便り
第8号
R6.6.3
文責：東海林

〈学校教育目標〉「ふるさとに誇りをもち たくましく生き抜く 子どもの育成」

言葉は しあわせをつくるために つかおう

子どもたちの日々の生活を見ていると、ドキっとする場面が多くあります。

△人の容姿や行動の特徴などをとらえ、おもしろ半分に悪口を言って笑う。
△人との関わりで気に入らないことがあると、腹いせに汚い言葉を吐く。
「うざい!」「きもい!」「ばか!」・・・(※文字にするのも心が痛みます)

集団で生活すると、思い通りにならないこともあり、感情的になります。しかし、トゲのある言葉を投げつけられるお友達の気持ちを考えたら、もし自分が言われるとしたら・・・と立ち止まって考えることを教えたいと思います。

相手のことを思いやるとか、大切にする・・・ということのまず手はじめは、やさしい言葉を遣うことだと考えます。人との関わりは、言葉のやりとりが基本です。自分も友達も心が温かくなる、うれしくなる言葉を交わすことで、「自分が大切にされている」と感じるはず。心が穏やかなときには、自然とこのような言葉が出てきます。私は、相手を大切に思い、やさしい言葉を遣うように気を付けると、いじわるやいじめもなくなるのではないかと思うのです。

ありがとう!

だいじょうぶ?

てっだうよ!

げんき?

あそぼう!

いっしょにやろう

おはよう!

ごめんね

もう一つ考えたいこと・・・

子どもに教えるときに大切なのは、大人の言葉遣いです。私たち教師や親も自分の言葉遣いや態度を見直したいものです。大人の様子を見て、子どもが無意識に同じことをしているのではないかとすれば「美しい言葉を遣ってみせる」「笑顔でさわやかなあいさつの手本を見せる」大人の責任はとっても重大であると実感します。子どもに言うだけでなく、私自身の言葉や態度も改めて見直してみよう・・・そう考える今日この頃です。

6月のあいさつ運動

岩城小学校では、今年度も月初めに「あいさつ運動」を行っています。

各ご家庭でも毎朝、爽やかなあいさつを交わし合っていたいただきたいと思います。6月3日(月)の朝は、

菅原久和様、中村繁喜様、小林理英子様、阿部正一様、那須美紀子様、佐藤重昭様、佐々木悟様、加藤ひと美様、三浦浩信様、岩城駐在所鈴木様にご協力くださいました。相手の目を見てあいさつができる人、会釈とともにあいさつができる人もいますが、中には素通り・・・という人も。私自身が子どもたちにとって、あいさつの手本となれるよう、毎日あいさつ運動をがんばっていきたいです。



自分の命は自分で守ります～いのちを守る岩城小～

5月28日（火）の3校時、授業中に震度6の地震が発生したという想定で、避難訓練を行いました。今年度初めてですので、地震発生時の避難経路や避難場所を確認し、放送や大人の指示に従って素早く安全に避難できる態度や能力を身に付けることを目的に行いました。その後の津波に備えて、高台への二次避難も行いました。高台への避難では、6年生が下級生を気遣う姿が見られ、岩城小学校のよさを感じました。

消防署員の方からの講評では、「集合の時、少しおしゃべりをする人が見られましたが、全体としては真剣に取り組んでいました」「二次避難も6年生と1年生、5年生と2年生、4年生と3年生が列を組んで歩きましたが、落ち着いて歩き通すことができました」「学校では安全確保のために先生方が指示を出しますが、お家ではどうでしょうか？いざという時にどのように行動すべきかを、家庭でぜひ確認してください」というお話をいただきました。

感想発表では、6年生から2名が次のようにお話をしてくれました。6年生の田口*
*さんは、「いざというときは、指示をしっかりと聞いてすぐに避難すること、『おかしも』の約束をしっかりと守ることが大切だということが分かりました。」6年生の今***さんは、「放送の指示をしっかりと聞いて静かに避難することができました。1年生の様子もしっかり見て安全に行動することができました。」と感想を述べて締めくくってくれました。

おそらく各ご家庭でも、もしものときに備えた準備をされていると思います。災害はいつどこで起こるか分からないので、避難経路や避難場所について確認し、命を守る行動についてぜひ話題にしていきたいです。（避難訓練の様子はホームページに掲載）

保・小連絡協議会

5月30日（木）の午後から道川保育園、亀田保育園の先生方をお迎えし、連絡協議会を行いました。1年生の5校時目の国語の授業を参観していただきました。「ねことねっこ」という学習を通して、小さく書く「っ」が入った言葉を読んだり、書いたりすることに挑戦していました。話す人にきちんと体を向けて聞き、全員が一生懸命取り組むことができました。授業の後は、帰り支度や帰りの会も見させていただきました。緊張がほぐれたら園の先生へ集まり、久しぶりの再会を喜んでいました。

協議会では、「子どもたちがすっかり小学生になって授業に向かっている等の感想をいただきました。また、小学校でも保育園でも、きちんとお話を聞くことができることが大切だと再確認しました。私も45分の授業を参観しました。1年生が、保育園の先生方に「学校に入学して、立派にがんばっているところを見せるぞ！」という気持ちが授業の様子から伝わってきて、とてもうれしくなりました。

